

カトリック十和田教会



指定区分	国登録有形文化財（建造物）
種別	国登録有形文化財（建造物）
名称	カトリック十和田教会
所在地	十和田市稲生町162番地
所有者・管理者名	カトリック仙台司教区
指定年月日	平成27年8月4日
概要	<p>昭和7年に稲生町の現在地に二代目の教会として建設されました。</p> <p>昭和39年には、隣接する幼稚園から出火し、教会堂を曳家（ひきや）により、南東へ数メートル移築しました。</p> <p>同教会は、日本に16年滞在し多くの学校や宗教施設などの建築設計を行ったスイス人のマックス・ヒンデルが設計した木造教会で、正面には切妻屋根に鐘楼があるのが特徴です。また、内部は、地元の木材使用した円柱があり、その上には装飾が施されています。これらの特徴は、西洋のロマネスク様式の特徴を色濃く表しています。</p> <p>ヒンデルの手がけた作品は、東京の上智大学や北海道のトラピスチヌ修道院（函館市）など数棟が現存しています。</p> <p>以上のことから、造形の模範となっているため、国の登録有形文化財になりました。</p>